

モビリティ利活用WG・PT これまでの取組み

----- 予定 ● ----- 総会、WG、PT

	第1四半期	第2四半期	2021.10	2021.11	2021.12	2022.1	2022.2	2022.3
コンソーシアム 総会	●		●		●			
モビリティ 利活用WG	●	●					●	●
拠点間の回遊性を 高めるモビリティ 検討PT		●		●	●	●	●	
モビリティ資源の 最適化・共有化の 可能性検討PT		●				●	●	●

中間報告
まとめ

WG 状況
共有

ヒアリングシート 調査・集計・まとめ

現時点のPT取組状況を共有し、
WGとしてまとめたものを総会に提出

回遊性向上のためのコンテンツ・モビリティ案の提案

モビリティ資源の可視化、最適化共有化の具体案素案の作成

第5回予定

※上表に記載のほか、PTリーダー会議（WGリーダー、PTリーダー、事務局が参加）を随時開催

年度内のPT取組状況を取りまとめ、WGで共有

幕張新都心の全体の課題感

(+モビリティによってもたらされる理想的な姿)

各施設の課題

各エリアの課題

ハードの課題

見えてきた課題に対して2つの側面から取り組む

域内交通の最適化に向けた検討

(取組案)

- ・PT制導入→集中して議論
- ・WGで幅広く議論

課題・ニーズ・資源の把握

(取組案)

- ・ヒアリングシート調査実施
- ・基礎データの提供・共有

第1回WG

課題の洗い出し

第2回WG

より具体的に
課題の洗い出し

第3回WG

PT制の導入説明
進め方の共有

第2回WGの各団体の課題と対策・取り組み

- ・目的地から次の目的地までの案内がない。
- ・駅から施設、施設から駅までの行き来のみをしている人が多い。
- ・球場までのバスはあるが、海側へのアクセス（交通手段）がない。
- ・シェアサイクルが2年前に始まってから回遊性が生まれたのでは？
- ・歩いて楽しいまちづくりの観点も必要。
- ・中心地の駐車場をつなぐ何かソフトな取り組みがあれば回遊性は向上するのでは？
- ・複数の施設を回遊できる工夫が必要。
- ・タクシーは費用がやや高いため、周遊バス（ハイエースサイズ）があるとよい。
- ・防犯対策など安全面の確保も重要。
- ・来訪者・従業員・居住者の視点から課題分析すべき

検討の内容ポイント
都市内の回遊性向上
来訪者・従業員・居住者

- ・たくさんあるが何の乗り物があるかわからない状態なので見える化が必要。
- ・自社のシャトルバスを走らせているが、コスト面で大きな課題。稼働率を改善させたい。
- ・定員数が限られておりシャトルバスに乗れないケースもある。
- ・初めての方は、シェアサイクルを利用できるか疑問。
- ・送迎バスは決められた時間にしか走れない
- ・ヒトだけでなくモノの輸送により稼働率を高める取り組みもある。
- ・既存の乗り物の利活用（路線バスのデマンド）に取り組んでいるところもある。
- ・アプリなどで情報提供、予約など一元化できると良い

検討の内容ポイント
ネットワーク可視化、
稼働の最適化

モビリティ利活用
WG検討PTテーマ案

拠点間の回遊性を高めるモビリティとは？
モビリティ資源の最適化・共有化の可能性について

モビリティ利活用WGのPT設置の提案

設置するPTについて

検討するチーム分けについて

● 拠点間の回遊性を高めるモビリティ検討PT

→【検討内容のイメージ】

デマンドバス、MaaSの導入、マイクロモビリティ、駐車場をハブとしたラストワンマイルなど

● モビリティ資源の最適化・共有化の可能性検討PT

→【検討内容のイメージ】モビリティの共有、既存バス(路線バス・シャトルバス)の活用、モノ配送による稼働最適化など

※PTの参加は任意となります。ご希望のPTへの参加が可能です

※千葉市は事務局となるため、各PTには参加いたしません(必要に応じ同席あり)

ヒアリングシート集計結果 課題

幕張新都心で活動する中で抱える「移動」に関する課題（抜粋）

- ・**施設間の移動困難**。 ・施設・ホテル・海などのアクセス等が悪い。 ・モビリティの認知度が低い。
- ・独自に導入している送迎バスのコストが高い。 ・**イベント以外に来訪目的がない**。
- ・同一の路線（ルート）に複数のバスが運行。 ・回遊性がないことにより消費低迷。
- ・**イベント時に来場客が集中して混雑が発生**。 ・情報共有など事業者の連携不足
- ・主目的以外の目的地がわからない。
- ・海の地域資源が活かされていない。
- ・シェアサイクルの利用時間に偏りがある。
- ・**どのようなモビリティがあるかわからない**。
- ・**駐車場の収容台数が試合観客を想定すると不足**。
- ・ビジネスエリアからの帰宅時の立ち寄りが難しい。

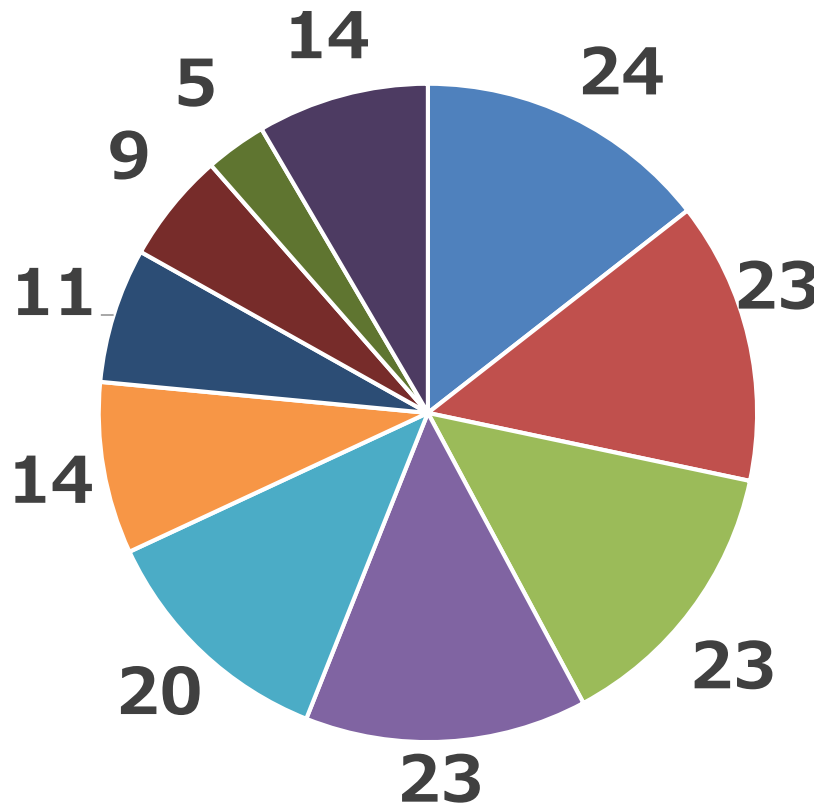
【アンケート結果から見た分析】

- 会員が抱える課題は、他のヒアリングシートの項目と比べて最も多岐にわたっている。
- 特に多かった課題は、以下のとおり。
 - ・施設間の移動困難。
 - ・駐車場が不足。
 - ・イベント時に混雑が発生。
 - ・モビリティの利用方法がわからない。
 - ・イベント以外に来訪目的がない。

ヒアリングシート集計結果 ニーズ

課題解決に有効と考える取組み

n = 42



【アンケート結果から見た分析】

● 会員全体の回答から、以下のモビリティの導入に関するニーズが高い。

- ・デマンドバス
- ・マイクロモビリティ
- ・施設間で協力し合うバス

● モビリティが一目でわかる案内・MaaSの導入に関する需要や自家用車の回遊性向上のための駐車場利用の取組みも同様に高い。

- デマンドバスを導入
- 施設間で協力し合うバスの導入
- 自家用車の回遊性向上のための駐車場利活用
- 自動運転バスの導入
- サービスロボットの導入
- マイクロモビリティの導入・増加
- モビリティが一目でわかる案内・MaaSの導入
- 海の利活用
- 集客のある新規イベント実施
- それ以外の取組み